

第5学年 特別活動（学級活動）学習指導案

日時 令和3年9月4日（土）

子ども 5年

I 議題名

「**団結！パワーアップ集会**」をしよう
～学級の仲をもっと深めよう～

<授業の見どころ>

子どもたちが合意形成を目指し、思考ツールを用いて互いの立場を理解しながら話し合い活動を行います。

II 議題の指導構想

1 議題について

○ 本学級の子どもたちは明るく素直であり、話し合いの活動に意欲的に取り組む子どもが多い。4月には学級編制を経験し、新しい級友や先生との出会いに期待を膨らませながら高学年としての生活をスタートさせた。6月には林間学校を経験し、登山やキャンプファイヤーの経験を通して友達とかかわり合うことで、学級の仲を深めてきた。また、7月には学級の男女の仲を深めるための活動を考え実践してきた。これらの活動を経て学級の仲が深まってきた実感している一方で、まだ十分に学級全体の絆が深まっていないと感じている子どもは少なくない。このような学級の実態から、学級の絆を深め、集団としての団結をより一層強くするためにはどうすればよいかを話し合い、実践の場で共に活動することは、とても価値のあることと考える。

○ 本議題は特別活動の活動内容（1）「学級や学校における生活づくりへの参画」における子どもたちの自発的・自治的活動をより一層高めるために設定した。教師の助言を受けながら子どもたちが活動計画を作成し、役割を分担して話し合い活動を自主的に進めていく。このことにより友達と考えを認め合い、学級の絆を深める会をつくり上げるにはどうしたらよいかを考え、実践することにより、よりよい人間関係を築こうとする実践的な態度を養うことを主なねらいとしている。

そこで、子どもたちが協力して活動したり、学級の絆をさらに深めたりするような集会を開くことによって、学級全員の結びつきを強め、学級の団結力を高めることができると考える。子どもたちが互いのことを理解し合い、認め合うことができる雰囲気は、よりよい学級経営の基盤になる。このような学級では、子どもたちは自己の可能性を十分に発揮しようと活動意欲が向上すると同時に、集団に対する所属感をもち、友達に積極的に働きかけるようになる。子どもたちが互いのことを認め合い、支え合えるような活動内容を考え、実践することにより、集団の絆をさらに深めることができる議題である。以上のことから本議題を設定した。

○ 指導にあたっては、次の2点に留意する。

一点目は、**問題意識を高めるための働きかけ【手立て1】**についてである。これまでの学校での生活経験と本議題で解決すべき問題を関連付けて考えさせ、修正・改善を繰り返しながら問題を解決していこうとする気持ちを高めさせる。本議題では、林間学校の振り返りや男女の仲を深めるための活動の振り返りを生かし、「4月当初よりも仲は深まってきたもののまだ課題が見られる」ことに気付かせたい。また、話し合いの際の子どもによる提案理由の説明の後、教師が補足説明を行う。その際、これまでの生活経験から本題材に繋がる問題が発見されたことを想起させ、修正・改善を繰り返していくことを確認する。**全校研究とのかかわり「つなぐ」**

二点目は**効果的な合意形成に至るための思考ツールの活用【手立て2】**についてである。話し合いの際の、意見の比べ合いの過程では、出し合った考えについて、図を使って整理しながら話し合いを焦点化し深めていきたい。そして、まとめ合いの段階では、子どもたちがこれまでに経験してきた合意形成の方法や新たに試したい方法を活用しながら、よりよい合意形成ができるようにしていきたい。また、活動の準備期間や活動後には、お互いのよさをとらえることができるように、認め合う場面を設定することでよりよい人間関係を構築しようとしたり、自己の考えを深めさせたりと集団の形成者としての見方・考え方を働かせる実践としていきたい。

全校研究とのかかわり「つなぐ」「えらぶ」「つかう」

2 学びの文脈に基づいた議題構想図

議題の目標

学級の友達との絆を深めるための集会活動の内容について考え、話し合い、実践することを通して、よりよい人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を養う。

議題の評価規準

指導項目	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
話し合い活動	① 実行委員会の役割や話し合い活動の準備の仕方を理解している。	④ 学級の解決すべき問題を自分事として捉え、解決するための自分の考えをまとめている。	⑦ みんなで話し合う問題に関心をもち、実行委員会の活動や話し合いの準備などに、見通しをもって自主的に取り組もうとしている。
	② 合意形成の手順や深まりのある話し合いの仕方を理解し、活動の仕方を身に付けている。	⑤ 学級の絆を深める集会活動の取組は何かを考え、よりよい学級や学校の生活づくりに向けて考え、判断し、建設的に話し合っている。	⑧ 学級の絆を深める集会活動の取組について、友達の立場や考え方を理解しながら話し合いに積極的に参加しようとしている。
事後(集会)	③ 学級の絆を深める集会活動の決定したことについて、みんなで効率的に実践することの方法や意義について理解している。	⑥ 学級の絆を深める集会活動で他の役割、創意工夫などについて考え、信頼し支え合って実践している。	⑨ 学級の絆を深める集会活動で、決定したことについて、自主的に準備や計画に取り組んだり、活動を振り返ったりしている。

復興教育との関連

○ いきる「③価値ある自分」

話し合い活動の中で、他者の考えを共感的に認めたり、板書に位置付けられたりするなど、みんなに価値付けられたときに自己有用感を感じる。

○ かかわる「⑨仲間とのつながり」

「学級の友達ともっと仲を深めたい」という提案理由を基に、自分と友達の考えを認め合いながら比較検討し、よりよい集団決定ができたとき、集団の所属感や仲間の大切さを感じる。

資質能力の高まり

他教科・領域等

総合 5年2・3学期『東日本大震災津波の被災やその復興の様子と困難を乗り越えたくましく生きようとする人々』

目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり必要な情報を選んだりしている。相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ表現することができる。

国語 5年2学期『どちらを選びますか』

互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。

4年
「みんながチャンピオン集会」をしよう

4年
「リレ集会」をしよう

4年
「読書まつり」をしよう

5年7月
「みんな仲良し集会」をしよう
男女の仲を深めるための集会活動の内容について考え、話し合い、実践することを通して、よりよい人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を養う。

本題材 5年9月
「団結！パワーアップ集会」をしよう
目標
学級の友達との絆を深めるための集会活動の内容について考え、話し合い、実践することを通して、よりよい人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を養う。

5年 11月
「100自慢大会をしよう」
友達のよさを見つけたり伝え合ったりする活動の中で、どのような方法が適切か話し合うことで、自分たちの生活をよりよくしようとする態度を養う。

6年
「最後の1年を充実させる計画をたてよう」

6年
「学年球技大会をしよう」

6年
「学級の歴史を残そう」

他教科・領域等

行事 5年5月『スポーツフェスタ』

自ら設定したためあてに沿い、集団や自己の競技や演技についての課題や解決策を考え、仲間と協力して行動することができる。

国語 5年1学期『きいて、きいて、きいてみよう』

話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。

見方・考え方を働かせるポイント

- 「自分たちにとって解決すべき問題は何か」という視点に立って活動の内容や工夫を考えたりする。
- 多様な意見の中で「自分にとってよいと思う意見」から「自分たちにとってよいと思う意見」に考えを広げていく。
- 話し合いでできたことをもとに「もっとよりよい学級になるために」という思いをもって実践したり振り返ったりする。

願い

- ・林間学校で深まった仲をさらに深めたい。
- ・みんなが納得できるように話し合いができるようになりたい。
- ・友達の考えをしっかりと聞いた上で、自分の考えに自信をもって伝えられるようになりたい。

特別活動の力

- 納得できずにいる友達の思いに寄り添うことができる子どもが多い。
- 提案理由に立ち返って、自分の考えを発表できる子どもが見られる。
- 自分の思いや願いを進んで伝えられずにいる子どもも見られる。
- 自分の思いに固執してしまい、合意形成に向けて折り合いをつけられずにいる子どもが見られる。
- 決められた時間で合意形成を図ろうとする集団としての意識がまだ低い。

子どもの実態

月日	参加児童	○活動内容 ・働かせる見方・考え方	◆研究の手立て	指導上の留意点と評価
8/25 (水)	計画委員 ・ 班長	○ 9月の学級活動の計画を立てる。 林間学校の振り返りから、現在の学級の課題や1学期のまとめとして行いたいことを話し合う。 ・ 学級として解決すべき問題という視点 で話し合う。	手立て1 問題意識高める働きかけ ◆林間学校の振り返りや男女の仲を深める活動の振り返りを想起することで、現在の自分たちの課題を明確に自覚できるようにする。 →【つなぐ】	<ul style="list-style-type: none"> 学級が楽しく豊かなものになることであるか、学級生活が向上することであるかという観点で議題を選定させる。
8/26 (木)	全員	○ 議題を決定する。 「 団結！パワーアップ集会 」をしよう。 ○ 実行委員を決める。 ・ 学級として解決すべき問題であることを確認する。		<ul style="list-style-type: none"> 学級の仲を深めるために集会を行いたいという理由を補足する。 【知技①】(観察・ノート)
8/27 (金)	実行委員	○ 集会の目標と内容を検討する。 ○ プログラムの原案を検討する。 ○ 話し合いの柱の原案を検討する。 学級の絆を深めるためには、どんな活動を行い、どんな工夫が必要か	手立て1 問題意識を高める働きかけ ◆これまでの集会活動の様子を写真や動画で想起させ、どのような内容をみんなで話し合うべきか共有する。 →【つなぐ】	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員が中心となっていくこと、みんなで決めることを分けながら準備を行う。【態度⑦】(観察)
8/27 (金)	全員	○ プログラムを決定する。 ○ 話し合いの柱を決定する。 ・ 全員で話し合うべき内容を明確にし、進んで話し合いに参加する。		<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会が原案を提示し、それに対して話し合いを行わせるようにする。【思判表⑤】(発言)
8/30 (月)	実行委員	○ 「 団結！パワーアップ集会 」で行いたい活動についてアンケートを行う。		<ul style="list-style-type: none"> どんな集会をしたいのかを実行委員が事前に把握することで、学級の実態を確認させる。
8/31 (火)	全員	○ アンケートの結果を発表する。 ○ 話し合い内容について確認する。 ○ 学級会カードに自分の考えを記入する。 ・ 学級での話し合いに向けて、自分の考えを明確にもち話し合いへの意欲を高める。		<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から、活動内容を実行委員がいくつか絞って、そこから選択させるようにする。 学級会カードに自分の考えを記入させる。【知技②・態度⑧】(学習カード)
9/1 (水)	全員	○ 本時の学級会において、みんなで解決していく問題であることを確認する。 ・ 実践の目的を再度確認し、問題意識を高める。	手立て1 問題意識を高める働きかけ 手立て2 思考ツールの活用 ◆これまでの実践の経験を生かして問題解決のために話し合う。 ◆思考ツールを活用しながら、自分たちにとってよりよい考えは何か選択する。 ◆合意形成をするための効果的な方法を選択し、活用する。 →【つなぐ・えらぶ・つかう】	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員が事前に学級会の話し合いの柱・提案理由・話し合いのゴールを全員に共通理解させるようにする。【思判表④】(発言)
9/2 (木)	進行係	○ 係の打ち合わせをする。		<ul style="list-style-type: none"> 実際の話合いの場面を想定しながら具体的に指導する。(進行・板書の確認)
9/4 (土) 本時	全員	○ 「 団結！パワーアップ集会 」を行うためには、どんな活動をすればよいのか話し合う。 ・ 提案理由や「学級みんなにとって」という視点で話し合う。		<ul style="list-style-type: none"> 教師の助言を受けながら、自分たちで決定できるようにする。【思判表⑤】(発言・学習カード)
	各係	○ 集会の準備を行う。		<ul style="list-style-type: none"> 集会の目標を意識して、進めさせるようにする。【評価③・⑨】
9/13 (月)	全員	○ 「 団結！パワーアップ集会 」を行う。 ○ 「 団結！パワーアップ集会 」の振り返りを書く。		<ul style="list-style-type: none"> 決まったことや準備してきたことを自分たちの力でできるように支援する。【思判表⑥】 今回の取組を通して自他の頑張りについて記述させる。【思判表⑥】(カード)

Ⅲ 本時の指導計画

1 目標

○ 学級の絆を深めるために「団結！パワーアップ集会」の内容について話し合い、決定することができる。

2 評価規準

【思考・判断・表現】

学級の絆を深める集会活動の取組は何かを考え、よりよい学級や学校の生活づくりに向けて考え、判断し、建設的に話し合っている。

<努力を要する状況の児童への手立て>

友達の考えを聞いたり、板書に位置付けられた考えを見せたりして、相手の考え方を理解できるようにする。

3 展開

活動の流れ	子どもの活動	時間	研究にかかわる手立て 予想される子どもの反応	留意点と評価
1 始めの言葉	○ 司会の合図で話し合いを始める。	1		<ul style="list-style-type: none"> 座席表を用いて事前に一人一人の考えを把握し、話し合いの活性化を図る。
2 係の紹介	○ 司会が係の紹介を行う。	1		
3 話し合いのめあての確認	○ 話し合いのめあてを確認する。	1		
4 議題の確認	○ 議題を確認する。	1		
5 提案理由の説明	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「団結！パワーアップ集会」ではどんな活動をしたらよいか。</div> ○ 提案者が「学級の絆を深めたい」という内容を話す。 ○ 決まっていること（条件）を確認する。 ○ 学級の友達の思いについて知る。	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 手立て1 問題意識を高める働きかけ ◆提案理由の説明に続き教師が補足説明を行う。活動後の目指す姿を共有することで話し合いの視点を明確にする。 →【つなぐ】 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 提案理由の説明の中で、話し合いが行われる経緯について説明させる。
6 話し合い 【話し合いの柱】	○ 自分の考えとその理由を出し合う。 ○ お互いの考えを比較検討し、考えを分類・整理しながら話し合う。 ○ 友達の意見から、自分の考えを修正・統合・発展させて話し合う。 ○ お互いの考えの相違点を理解し合い、よりよい合意形成をする。	25		
① どんな活動をするか		○	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 手立て2 思考ツールの活用 ◆子どもたちからの考えが出きったところで、思考ツールを活用し考えを整理し、視覚化する。その後比べ合いに移行し効果的な合意形成ができるようにする。 →【えらぶ】 </div>	
② どんな工夫ができるか		○	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 【思考・判断・表現】 学級の絆を深める集会活動の取組は何かを考え、よりよい学級や学校の生活づくりに向けて考え、判断し、建設的に話し合っている。(絵・ノート) </div>	
7 決まったこと の確認	○ ノート記録が発表する。	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 【思考・判断・表現】 学級の絆を深める集会活動の取組は何かを考え、よりよい学級や学校の生活づくりに向けて考え、判断し、建設的に話し合っている。(絵・ノート) </div>	<ul style="list-style-type: none"> 決まったことを短く発表させる。 話し合いや活動に対しての意識の持続化を図るために、振り返りを行わせる。 助言の中で、考え方のよさや参加態度などを賞賛し、話し合ったことの満足感や実践への期待感を高める。
8 今日の話 合いの振り返り	○ 自分の考えが話し合いを経てどのように変わったか、深まったかを学級会カードに書き、発表する。	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 【思考・判断・表現】 ◆折り合いをつけるための手法をこれまでの実践の経験から選択し、少数派の友達の意見も受け止めながらよりよい合意形成の方法は何か考えさせる。→【つかう】 </div>	
9 先生から	○ 教師の話聞く。	○		
10 終わりの言葉	○ 司会が話す。	1		

【振り返りの表現例】

- ・初めは、○○の考えが良いと思っていたけれど、□□さんの考えを聞いてそういう良さもあるんだなと思いました。
- ・どの考えも良いなと思ったけれど、図を使って比べてみた時にみんなにとって良い考えが分かってよかったです。

